

お墓参りのしかた

おはかまいりのしかた

正しい作法

お墓参りは故人を懐かしみ先祖に感謝し、供養する気持です。お盆やお彼岸の時だけでなく、いつでも気軽にできるのがお墓参りの本来の姿です。

- ★寺院の場合は、着いたら必ず山門から入り、参道を通って手洗い場に向かいます。



- ★手洗い場では、用意されている柄杓で手を洗い清めます。



- ★生花、おしきび、線香等ご用意していますか。寺院、霊園によって、指定があります。寺務所や管理事務所で求め下さい。



- ★墓地内のお水場や井戸で水を汲んでお墓へお持ちください。



- お墓参りは午前中にしましょう。
- 故人ご先祖様のいらっしゃる寺院や霊園は神聖な場所です。お体の不自由な方、移動に不便な方以外は、なるべくお車でお墓参りはやめましょう。

正しいお墓参りの手順

- ①お墓の前で合掌礼拝をしましょう

- ②お墓の掃除をしましょう

- 古いお花やお線香が残っていたら片付けましょう。
- ほうきで墓地内を掃きましょう。
- 墓石・花立などを絞ったタオルできれいに拭きましょう。



- ③お花やお供物をお供えしましょう

- 命日は特に故人の好物を供えるのもよいでしょう。
- 果物やお菓子などは、半紙を折って墓石の上に置きます。



- ④水鉢にお水をあげましょう



- ⑤お線香を焚いて、お供えしましょう

- ろうそくに火をつけ、ろうそくの火から移します。

- ⑥手を合わせてお墓に礼拝しましょう

- 立ったままでなく、しゃがんでお墓に礼拝して下さい。
- 順番は、故人と縁の深い人から順に行ってください。
- お線香が三分の二以上燃えるまではお墓に留まっています。



- 水を汲む時、個人の手桶や設備されているものを使いましょう。使い終わったら次の人のためにきれいにして、所定の場所に戻して下さい。
- お墓参りが終わったら後始末をきちんとしてからその場を後にして下さい。お供え物は鳥などに食べ散らかされないよう、持ち帰りましょう。
- お帰りの際もご僧侶さまや寺務所・管理事務所の人への挨拶を忘れずに。